

からすの生態・習性を知り対策に生かしましょう！

からすは、夜の間は巣に帰って休んでいます。そして、夜明けの30分前くらいになると、巣から飛び立ってエサを探します。からすは集団で行動するため、1匹のからすがエサを見つけると、鳴き声によって仲間を集めて集団でエサを食べます。



crow

からすは、高い学習能力を持っているのに加えて色彩感覚が優れているので、色覚により、からすはごみ袋の中を判別しエサが入っていることを認識しています。

からすは、3～7月に繁殖期を迎えます。繁殖期を迎えたからすは、気性が荒くなっているため、人を攻撃してくることもあります。



子育て時期(3月～7月)は特に、ごみ(えさ)が狙われます



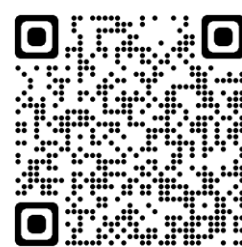
からすの鼻は、嘴の付け根にあって、ブラシのような毛で覆われています。一般的に鳥類の嗅覚は、哺乳類に比べて発達していません。からすは鳥の中でもことさら嗅覚が発達していないそうですので、鼻はあるものの、臭いにはとても鈍い動物と考えて良さそうです。

ごみを荒らされないために、  ごみ出しにひと工夫

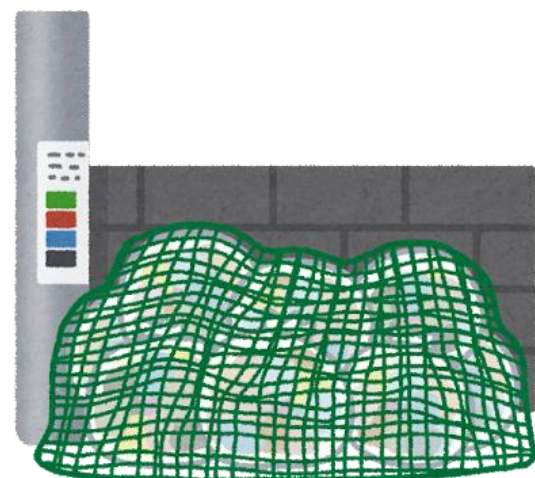
★決められた収集日や時間帯にごみを出す

からすは早朝の早い時間から活動するため、前日の夜からごみを出すと、からすにごみを荒らされる確率が上がります。大阪市では、お住いの地域ごとの目安となるごみ収集時間帯（概ね2時間程度の幅）をお知らせしています。できる限り目安となる収集時間帯の直前にごみをお出してください。

大阪市
ごみ収集マップ



★防鳥ネットで防御する



防鳥ネットは効果的。からすにごみを見せない効果もあります。

ただし、正しく使わなければ、効果を発揮できないことがあります。

防鳥ネットで効果を発揮するためのポイントは、裏面で解説します。

免許皆伝

正しく防鳥ネットを使用し、からす被害を防ごう！



その1

細かい網目（概ね5mm以下）の防鳥ネットを使うべし

防鳥ネットを選ぶときには、からすのくちばしが入らないような、網目が細かいものを選びましょう。目安として、5mm以下のものを選べば、カラスのくちばしを通らず被害を防ぐことができるでしょう。

その2

すきまをつくらないように防鳥ネットを使うべし

防鳥ネットにすきまがあると、からすがそこからゴミを引っ張り出して漁る恐れがあります。防鳥ネットをかけるときには、すきまをつくらないように、ゴミを包み込むように使用し、からすの攻撃を防ぎましょう。



防鳥ネットを利用していても、被害にあう場合があります。お心当たりはありませんか？



ネットでごみを包み込むことで、からすの攻撃を許しません



ネットの網目は細かく、破損していないものを使用し、からすがついはむすきを与えない



ネットがめくれとったら、からすが侵入してしまうので



ネットにごみを巻き込んだかんと賢いからすはペロっとめくってしまうので



ネットの正しく使用し、からす被害を防ぎましょう！

からすネット（防鳥ネット）を無償貸与しています

からすによるごみの散乱被害を防止するため、大阪市が収集するごみの持ち出し場所（概ね5世帯以上で利用されている場所）に、からすネット（防鳥ネット）を無償で貸し出します。詳しくは、お住いの環境事業センターまでお問い合わせください。



⇐ お住いの地域の担当環境事業センター

「からすにごみを荒らされてお困りのときは」⇒

